

令和8年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業
「原則として医行為ではない行為に関するガイドライン」改訂に関する調査研究事業
事業所調査票

- 貴事業所の管理者または管理者から委任された方にご回答をお願いいたします。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲んでください。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。
- 調査時点は2026年9月1日または質問に記載している時期・期間とします。
- 回答は、封筒のあて名の施設のお立場で記入してください。

問1 本調査への協力に同意いただけますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問2 貴事業所の基本情報を伺います。

(1) 貴事業所のサービス種別で該当するものに○をつけてください。封筒のあて名にあるサービス種別をお答えください。
※協力事業者によるサービス提供は含めず、自施設職員によるサービス提供の視点でご回答ください。

介護	1. 介護老人福祉施設	2. 介護老人保健施設	3. 認知症対応型共同生活介護
	4. 特定施設入居者生活介護	5. 訪問介護	6. 小規模多機能型居宅介護
	7. 看護小規模多機能型居宅介護	8. 通所介護	9. 住宅型有料老人ホーム
障害	10. 障害者支援施設(施設入所支援)	11. 重度訪問介護	
	12. 居宅介護	13. 生活介護	14. 共同生活援助

(2) 貴事業所に看護職員は配置されていますか。	1. はい	2. いいえ
--------------------------	-------	--------

(2)で「1. はい」の場合
1) サービス提供時間のうち、看護職がいる時間はどの程度ですか。

1. 常に看護職がいる(サービス提供時間の9割以上)
2. 概ね看護職がいる(サービス提供時間の6～8割程度はいる)
3. 特定の時間や曜日に看護職がいる(サービス提供時間の3～5割程度)
4. 看護職はあまりいない(2割以下)

(3)(2)で「2. いいえ」の場合
事業所外の医療職との連携体制の状況をお答えください(外部連携)。

1. 日ごろから些細なことでも気軽に相談できる体制がある
2. 必要なときには相談できる体制がある
3. 必要なときには相談できるが、気軽に相談できる体制はない
4. その他()

問3 原則として医行為ではない行為に関するガイドライン、令和7年12月に発出された医政局通知について伺います。

(4)原則として医行為ではないと考えられる行為については、過去に医政局長通知により示されており、令和7年には「原則として医行為ではない行為に関するガイドライン」(以下、「ガイドライン」という。)が公表されました。ガイドラインの活用状況をお答えください。(複数回答)
ガイドラインはこちらからご確認ください→<https://www.mhlw.go.jp/content/001489487.pdf>

1. 職員への研修・育成に活用している
2. 医行為に該当するか判断する際の参考として活用している
3. 業務手順書・マニュアルの作成・改訂に活用している
4. 施設・事業所内のルールや基準の整備に活用している
5. 利用者ごとのケア方法や対応を検討する際に活用している
6. 医療職との役割分担や連携方法を確認する際に活用している
7. 多職種との情報共有・認識合わせに活用している
8. 家族や利用者への説明の参考資料として活用している
9. 事故防止・リスクマネジメントのために活用している
10. 行政監査や第三者評価等への対応の参考として活用している
11. 必要な時のみ参照している
12. その他()
13. 活用していない

(5)令和7年12月26日厚生労働省医政局通知「医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について(その3)」(以下、「令和7年通知」という。)では、原則として医行為ではない行為として服薬準備等関係、蓄尿バッグ交換等関係が示されました。令和7年通知を踏まえた貴事業所の対応をお答えください。対応には貴事業所のみならず貴法人として対応しているものも含まれます。(複数回答)

令和7年通知はこちらからご確認ください→<https://www.mhlw.go.jp/content/001624372.pdf>

1. 令和7年通知の内容を職員に周知した
2. 令和7年通知の内容について勉強会や研修会を開催した
3. 令和7年通知の内容を業務手順書・マニュアル等に追記した
4. 医療職との連携方法を見直した
5. 利用者・家族への説明方法や同意確認を見直した
6. 事故防止・リスクマネジメントの対応手順を見直した
7. その他()
8. 特に対応はしていない

問4 令和7年通知の行為について伺います。

(6) 令和7年通知の行為について貴事業所の介護職員の実施状況をお答えください。

1) 医師又は看護職員の立会いの下で安全に行えることを事前に確認された実施者が、蓄尿バッグの破損等尿漏れを確認した際や、蓄尿バッグが膀胱留置カテーテルから外れた際に、膀胱留置カテーテルと未開封・未使用の蓄尿バッグを接続すること		1. 介護職員が実施している 2. 現在は実施できないが今後、介護職員による実施を予定している 3. 実施する予定はない	
1)で1と回答した場合 ①行為の実施にあたり、次の項目について回答してください		はい	いいえ
ア 行為の実施に当たり、本人や家族に対して分かりやすく適切な説明を行っていますか		1	2
イ 介護職員等が実施する行為について、本人や家族が相談できる環境が整えられていますか		1	2
ウ 必要に応じて、サービス担当者会議の開催時等に医師、歯科医師、薬剤師又は看護職員に相談や書面等で指示を受けていますか		1	2
エ 行為の実施後に、医師、歯科医師、薬剤師又は看護職員へ報告を行っていますか		1	2
オ 看護職員による当該行為の実施計画が立てられている場合、その計画に基づいて具体的な手技・方法を実施し、結果について報告・相談を行っていますか		1	2
カ 行為の実施に当たり、必要に応じてマニュアルの作成や医療従事者による研修を行っていますか		1	2
キ 実施者は、医師又は看護職員の立会いの下で安全に行えることを事前に確認された者ですか		1	2
ク 管理的立場の方が、職員が安全に行うことを実施しているか、管理・監督していますか		1	2
ケ 実施する場面は、蓄尿バッグの破損等尿漏れを確認した際、又は蓄尿バッグが膀胱留置カテーテルから外れた際のいずれかですか(定期的な交換でない)		1	2
1)で1と回答した場合 ②行為を実施する際、どのような点が課題となっていますか(複数回答)		1. 尿漏れやバッグ脱落の原因を特定すること 2. 感染対策を適切に行うこと 3. 蓄尿バッグを膀胱よりも低い位置に保持すること 4. 膀胱留置カテーテルや接続チューブが折れ曲がったり、ベッド柵などで潰れたりしないように接続すること 5. 緊急時の対応体制 6. 介護職員が対応することへの心理的負担があること 7. 利用者・家族等に行為の説明をし、理解を得ること 8. その他() 9. 特に課題はない	
1)で1と回答した場合 ③行為を実施するにあたり、どのような工夫をしていますか(複数回答)		1. 医療職による研修を開催している 2. 実施手順書を作成している 3. 事業所内で相談できる体制を整えている 4. その他() 5. 特にない	
1)で1と回答した場合 ④行為を実施するにあたり、医療職とどのような連携をしていますか(複数回答)		1. 介護記録システム・電子記録や情報共有システムに入力し共有・相談している 2. 連絡ノート等の書面で共有・相談している 3. 随時対面や電話等で共有・相談している 4. カンファレンスやサービス担当者会議等の会議の場で状況を共有・相談している 5. その他() 6. 特に連携はしていない	
1)で1と回答した場合 ⑤医療職との連携では、どのような点が課題となっていますか(複数回答)		1. 連絡・相談に心理的なハードルがある 2. 医療職に連絡がつながりにくい 3. 医療職からの指示・情報共有の内容が理解しづらい 4. 介護職から医療職に報告する内容・粒度の判断に迷う 5. 医療職への報告のタイミングがわからない 6. 医療職により、指示内容が異なる 7. 医療職に研修や講習を依頼しても受けしてもらえない 8. 医療職からの指示と利用者の認識が違う 9. その他() 10. 特に課題はない	
1)で2と回答した場合 ⑥行為を介護職員が実施するために、どのようなことが課題となっていますか(複数回答)		1. 医師や看護職員による、事前の実施者の確認方法 2. 行為を実施できる職員の育成 3. 業務手順書やマニュアルの整備 4. 緊急時等の相談体制 5. 法的責任の確認 6. 利用者や家族等に行為について説明すること 7. 利用者や家族からの行為に関する相談窓口を整備すること 8. その他() 9. 特に課題はない	
1)で3と回答した場合 ⑦介護職員が行為を実施していない理由(複数回答)		1. 対象となる利用者がいない 2. 看護職員が対応しているため必要性がない 3. 医療職との調整ができていない 4. マニュアルの整備ができていない 5. 職員への教育が十分に実施できない 6. 安全面に不安がある 7. 法的責任に不安がある 8. 令和7年通知の内容を十分理解できていない 9. その他()	

2) お薬カレンダーへ一包装された等の医薬品をセットすること		1. 介護職員が実施している 2. 現在は実施できないが今後、介護職員による実施を予定している 3. 実施する予定はない	
2)で1と回答した場合		はい	いいえ
①行為の実施にあたり、次の項目について回答してください			
ア 行為の実施に当たり、本人や家族に対して分かりやすく適切な説明を行っていますか		1	2
イ 介護職員等が実施する行為について、本人や家族が相談できる環境が整えられていますか		1	2
ウ 必要に応じて、サービス担当者会議の開催時等に医師、歯科医師、薬剤師又は看護職員に相談や書面等で指示を受けていますか		1	2
エ 行為の実施後に、医師、歯科医師、薬剤師又は看護職員へ報告を行っていますか		1	2
オ 看護職員による当該行為の実施計画が立てられている場合、その計画に基づいて具体的な手技・方法を実施し、結果について報告・相談を行っていますか		1	2
カ 行為の実施に当たり、必要に応じてマニュアルの作成や医療従事者による研修を行っていますか		1	2
キ 医師、歯科医師又は看護職員が本人又は家族等に対し、本行為を介護職員が実施できることを伝えており、事前に本人又は家族等からの具体的な依頼がありましたか		1	2
ク 当該医薬品について、医師又は歯科医師の処方及び薬剤師の服薬指導を受けていますか		1	2
ケ 介護職員等は、看護職員による保健指導・助言を遵守していますか		1	2
コ 当該医薬品は、あらかじめ薬袋等により利用者ごとに区分し授与されたものですか		1	2
2)で1と回答した場合		1. 利用者本人に氏名を確認する（呼びかけ、名乗ってもらう等） 2. 利用者が身につけているネームバンド等により確認する 3. 利用者名簿・利用者一覧等と照合する 4. 薬袋・薬包等に記載された氏名と照合する 5. 電子記録・介護記録システム等に示された利用者情報と照合する 6. 他の職員とともに確認する（ダブルチェック） 7. その他（ ）	
②行為を実施する際、対象となる利用者本人であることをどのような方法で確認していますか。（複数回答）			
2)で1と回答した場合		1. 複数の利用者の薬を取り違えないように管理すること 2. 正しい日時にセットすること 3. セット後に確認をすること 4. 処方の変更された場合に情報を共有すること 5. 医療機関・薬局に一包装を依頼すること 6. 介護職員が対応することへの心理的負担があること 7. その他（ ） 8. 特に課題はない	
③行為を実施する際、どのような点が課題となっていますか（複数回答）			
2)で1と回答した場合		1. 医療職による研修を開催している 2. 実施手順書を作成している 3. 利用者ごとに作業を区切って実施している 4. セット後に別の職員がダブルチェックをしている 5. 処方の変更時はその内容を医療職と介護職員で共有する手順（フロー）を決めている 6. 事業所内で相談できる体制を整えている 7. その他（ ） 8. 特にない	
④行為を実施するにあたり、どのような工夫をしていますか（複数回答）			
2)で1と回答した場合		1. 介護記録システム・電子記録や情報共有システムに 入力し共有・相談している 2. 連絡ノート等の書面で共有・相談している 3. 随時対面や電話等で共有・相談している 4. カンファレンスやサービス担当者会議等の会議の場で 状況を共有・相談している 5. その他（ ） 6. 特に連携はしていない	
⑤行為を実施するにあたり、医療職とどのような連携をしていますか（複数回答）			
2)で1と回答した場合		1. 連絡・相談に心理的なハードルがある 2. 医療職に連絡がつながりにくい 3. 医療職からの指示・情報共有の内容が理解しづらい 4. 医療機関・薬局に一包装を依頼できない 5. 介護職から医療職に報告する内容・粒度の判断に迷う 6. 医療職への報告のタイミングがわからない 7. 医療職により、指示内容が異なる 8. 医療職に研修や講習を依頼しても受けてもらえない 9. 医療職からの指示と利用者の認識が違う 10. その他（ ） 11. 特に課題はない	
⑥医療職との連携では、どのような点が課題となっていますか（複数回答）			
2)で2と回答した場合		1. 行為を実施できる職員の育成 2. 業務手順書やマニュアルの整備 3. 緊急時等の相談体制 4. 法的責任の確認 5. 利用者や家族等に行為について説明すること 6. 利用者や家族からの行為に関する相談窓口を整備すること 7. その他（ ） 8. 特に課題はない	
⑦行為を介護職員が実施するために、どのようなことが課題となっていますか（複数回答）			

2)で3と回答した場合 ⑧介護職員が行為を実施していない理由(複数回答)	1. 対象となる利用者がいない 2. 看護職員が対応しているため必要性がない 3. 医療職との調整ができていない 4. マニュアルの整備ができていない 5. 職員への教育が十分に実施できない 6. 安全面に不安がある 7. 法的責任に不安がある 8. 令和7年通知の内容を十分理解できていない 9. 医療機関・薬局に一包化を依頼できない 10. その他()	
3)服薬の直前にPTPシートから薬剤を取り出すこと	1. 介護職員が実施している 2. 現在は実施できないが今後、介護職員による実施を予定している 3. 実施する予定はない	
3)で1と回答した場合	はい	いいえ
①行為の実施にあたり、次の項目について回答してください。		
ア 行為の実施に当たり、本人や家族に対して分かりやすく適切な説明を行っていますか	1	2
イ 介護職員等が実施する行為について、本人や家族が相談できる環境が整えられていますか	1	2
ウ 必要に応じて、サービス担当者会議の開催時等に医師、歯科医師、薬剤師又は看護職員に相談や書面等で指示を受けていますか	1	2
エ 行為の実施後に、医師、歯科医師、薬剤師又は看護職員へ報告を行っていますか	1	2
オ 看護職員による当該行為の実施計画が立てられている場合、その計画に基づいて具体的な手技・方法を実施し、結果について報告・相談を行っていますか	1	2
カ 行為の実施に当たり、必要に応じてマニュアルの作成や医療従事者による研修を行っていますか	1	2
キ 医師、歯科医師又は看護職員が本人又は家族等に対し、本行為を介護職員が実施できることを伝えており、事前に本人又は家族等からの具体的な依頼がありましたか	1	2
ク 当該医薬品について、医師又は歯科医師の処方及び薬剤師の服薬指導を受けていますか	1	2
ケ 介護職員等は、看護職員による保健指導・助言を遵守していますか	1	2
3)で1と回答した場合	1. 利用者本人に氏名を確認する(呼びかけ、名乗ってもらう等) 2. 利用者が身につけているネームバンド等により確認する 3. 利用者名簿・利用者一覧等と照合する 4. 薬袋・薬包等に記載された氏名と照合する 5. 電子記録・介護記録システム等に示された利用者情報と照合する 6. 本人確認アプリを利用する 7. 他の職員とともに確認する(ダブルチェック) 8. その他()	
3)で1と回答した場合 ③行為を実施する際、どのような点が課題となっていますか(複数回答)	1. 処方内容や服薬時刻を確認すること 2. 錠剤・カプセルを落下・紛失しないようにすること 3. ダブルチェックの体制が組めないこと 4. 介護職員が対応することへの心理的負担があること 5. その他() 6. 特に課題はない	
3)で1と回答した場合 ④行為を実施するにあたり、どのような工夫をしていますか(複数回答)	1. 医療職による研修を開催している 2. 服薬後まで薬袋やPTPシートを保管し、何を服薬したのか照合できるようにしている 3. 処方の変更時はその内容を医療職と介護職員で共有する手順(フロー)を決めている 4. 事業所内で相談できる体制を整えている 5. その他() 6. 特にない	
3)で1と回答した場合 ⑤行為を実施するにあたり、医療職とどのような連携をしていますか(複数回答)	1. 介護記録システム・電子記録や情報共有システムに入力し共有・相談している 2. 連絡ノート等の書面で共有・相談している 3. 随時対面や電話等で共有・相談している 4. カンファレンスやサービス担当者会議等の会議の場で状況を共有・相談している 5. その他() 6. 特に連携はしていない	
3)で1と回答した場合 ⑥医療職との連携では、どのような点が課題となっていますか(複数回答)	1. 連絡・相談に心理的なハードルがある 2. 医療職に連絡がつながりにくい 3. 医療職からの指示・情報共有の内容が理解しづらい 4. 医療機関・薬局に一包化を依頼できない 5. 介護職から医療職に報告する内容・粒度の判断に迷う 6. 医療職への報告のタイミングがわからない 7. 医療職により、指示内容が異なる 8. 医療職に研修や講習を依頼しても受けてもらえない 9. 医療職からの指示と利用者の認識が違う 10. その他() 11. 特に課題はない	

3)で2と回答した場合 ⑦行為を介護職員が実施するために、どのようなことが課題となっていますか(複数回答)	1. 行為を実施できる職員の育成 2. 業務手順書やマニュアルの整備 3. 緊急時等の相談体制 4. 法的責任の確認 5. 利用者や家族等に行為について説明すること 6. 利用者や家族からの行為に関する相談窓口を整備すること 7. その他() 8. 特に課題はない	
3)で3と回答した場合 ⑧介護職員が行為を実施していない理由(複数回答)	1. 対象となる利用者がいない 2. 看護職員が対応しているため必要性がない 3. 医療職との調整ができていない 4. マニュアルの整備ができていない 5. 職員への教育が十分に実施できない 6. 安全面に不安がある 7. 法的責任に不安がある 8. 令和7年通知の内容を十分理解できていない 9. その他()	
4)専門的な管理が必要無いことを医師若しくは看護職員が確認した皮膚に、いわゆる湿布を貼付すること	1. 介護職員が実施している 2. 現在は実施できないが今後、介護職員による実施を予定している 3. 実施する予定はない	
4)で1と回答した場合 ①行為の実施にあたり、次の項目について回答してください。	はい	いいえ
ア 行為の実施に当たり、本人や家族に対して分かりやすく適切な説明を行っていますか	1	2
イ 介護職員等が実施する行為について、本人や家族が相談できる環境が整えられていますか	1	2
ウ 必要に応じて、サービス担当者会議の開催時等に医師、歯科医師、薬剤師又は看護職員に相談や書面等で指示を受けていますか	1	2
エ 行為の実施後に、医師、歯科医師、薬剤師又は看護職員へ報告を行っていますか	1	2
オ 看護職員による当該行為の実施計画が立てられている場合、その計画に基づいて具体的な手技・方法を実施し、結果について報告・相談を行っていますか	1	2
カ 行為の実施に当たり、必要に応じてマニュアルの作成や医療従事者による研修を行っていますか	1	2
キ 医師、歯科医師又は看護職員が本人又は家族等に対し、本行為を介護職員が実施できることを伝えており、事前に本人又は家族等からの具体的な依頼がありましたか	1	2
ク 当該医薬品について、医師又は歯科医師の処方及び薬剤師の服薬指導を受けていますか	1	2
ケ 介護職員等は、看護職員による保健指導・助言を遵守していますか	1	2
コ 使用する貼付剤は、鎮痛・消炎に係る効能・効果を有するものであり、麻薬若しくは向精神薬又はステロイド外用剤等専ら皮膚疾患に用いるものでないですか	1	2
サ 貼付する皮膚について、専門的な管理が必要無いことを医師若しくは看護職員が確認していますか	1	2
4)で1と回答した場合 ②行為を実施する際、対象となる利用者本人であることをどのような方法で確認していますか。(複数回答)	1. 利用者本人に氏名を確認する(呼びかけ、名乗ってもらう等) 2. 利用者が身につけているネームバンド等により確認する 3. 利用者名簿・利用者一覧等と照合する 4. 薬袋・薬包等に記載された氏名と照合する 5. 電子記録・介護記録システム等に示された利用者情報と照合する 6. 本人確認アプリを利用する 7. 他の職員とともに確認する(ダブルチェック) 8. その他()	
4)で1と回答した場合 ③行為を実施する際、どのような点が課題となっていますか(複数回答)	1. 専門的な管理が必要無いことを医師若しくは看護職員が確認すること 2. 貼付前に皮膚の状態を確認すること 3. 指示どおりの部位へ貼付すること 4. 皮膚トラブルが生じた際の対応 5. 介護職員が対応することへの心理的負担がある 6. 利用者・家族等に行為の説明をし、理解を得ること 7. その他() 8. 特に課題はない	
4)で1と回答した場合 ④行為を実施するにあたり、どのような工夫をしていますか(複数回答)	1. 医療職による研修を開催している 2. 介護職による湿布の実施が可能な対象者をリスト化している 3. 皮膚トラブル時の対応手順を作成している 4. 皮膚の観察ポイントを整理している 5. 事業所内で相談できる体制を整えている 6. その他() 7. 特になし	
4)で1と回答した場合 ⑤行為を実施するにあたり、医療職とどのような連携をしていますか(複数回答)	1. 介護記録システム・電子記録や情報共有システムに入力し共有・相談している 2. 連絡ノート等の書面で共有・相談している 3. 随時対面や電話等で共有・相談している 4. カンファレンスやサービス担当者会議等の会議の場で状況を共有・相談している 5. その他() 6. 特に連携はしていない	

4)で1と回答した場合 ⑥医療職との連携では、どのような点が課題となっていますか(複数回答)	1. 連絡・相談に心理的なハードルがある 2. 医療職に連絡がつながりにくい 3. 医療職からの指示・情報共有の内容が理解しづらい 4. 介護職から医療職に報告する内容・粒度の判断に迷う 5. 医療職への報告のタイミングがわからない 6. 医療職により、指示内容が異なる 7. 医療職に研修や講習を依頼しても受けしてもらえない 8. 医療職からの指示と利用者の認識が違う 9. その他() 10. 特に課題はない
4)で2と回答した場合 ⑦行為を介護職員が実施するために、どのようなことが課題となっていますか(複数回答)	1. 行為を実施できる職員の育成 2. 業務手順書やマニュアルの整備 3. 緊急時等の相談体制 4. 法的責任の確認 5. 利用者や家族等に行為について説明すること 6. 利用者や家族からの行為に関する相談窓口を整備すること 7. その他() 8. 特に課題はない
4)で3と回答した場合 ⑧介護職員が行為を実施していない理由(複数回答)	1. 対象となる利用者がいない 2. 看護職員が対応しているため必要性がない 3. 医療職との調整ができていない 4. マニュアルの整備ができていない 5. 職員への教育が十分に実施できない 6. 安全面に不安がある 7. 法的責任に不安がある 8. 令和7年通知の内容を十分理解できていない 9. その他()

問5 介護職員と看護職員の連携について伺います。(看護職員がいる事業所のみ)

(7)看護職員は、介護職員による原則として医行為ではない行為の実施状況をどのように確認しているかをお答えください。(複数回答)

1. 実施後の記録を確認している 2. 介護職員が実施している行為を直接みて確認している 3. 定期的に技術・手順を確認している 4. 利用者の状態や経過を確認している 5. 実施結果について介護職員から報告を受けている 6. 定期的に面談・振り返りを実施している 7. その他() 8. 特に確認は行っていない
--

(8)(7)で8以外を回答した場合 確認結果を踏まえて、どのような対応をしているかをお答えください。(複数回答)

1. 個別に助言を行っている 2. 実施手順を見直している 3. マニュアルを改訂している 4. 利用者の状態や経過を確認している 5. 研修内容に反映している 6. 他の医療職と情報共有している 7. その他() 8. 特に対応は行っていない
--

問6 令和7年通知で整理された行為の具体的な内容について伺います。

(9)原則として医行為ではない行為における蓄尿バッグ交換等関係、服薬準備等関係について、介護職員が行為を安全に実施するために
行っている工夫(誤薬防止のための本人確認、お薬カレンダーをセットする際の工夫等)や医療職との連携が円滑に行われた事例・要因が
あれば記入してください。

--

(10)原則として医行為ではない行為における蓄尿バッグ交換等関係、服薬準備等関係について、ヒヤリ・ハットの事例があれば記入してください。
ガイドライン作成にあたっての参考とさせていただきます。

--

最後に、ヒアリング調査にご協力いただける場合は、ご連絡先をご記入ください。

※アンケートへの回答結果等を踏まえて、ヒアリングのご協力を依頼する場合があります。

事業所名	
お名前	
お電話	
メールアドレス	

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。